

| | | | | |
|-------|--|-----|-------|------|
| 発行日 | 令和3年6月8日 | 担当者 | 営農企画課 | 弓田康詞 |
| 対象期間 | 令和3年6月8日～6月22日 | | | |
| 発行者 | J/Aハイナン 営農企画課 | | | |
| 原稿提出者 | ○茶：東部C丹所 ○大根・馬鈴薯・メロン：東部C水野 ○水稻・レタス・サニー：西部C河原崎 ○みかん：東部C浅野 ○いちご：西部C村松 | | | |

| 項目 品目 | 生育状況・病虫害発生状況 | 管理・病虫害防除 |
|----------|---|--|
| 茶 | <p>6月上旬より管内二番茶の製造が開始されました。</p> <p>積極的な被覆により差別化と販売価格の向上を目指しましょう。</p> <p>※夏茶生産時期は、農作業が最も集中するため、摘採機や製茶機械の取り扱いには十分注意し、事故の無いよう努めましょう。</p> <p>※熱中症対策として、作業中はこまめな水分・塩分補給を心掛けてください。</p> | <p>赤ダニの発生が多く見られます。</p> <p>被覆する茶園では赤ダニが増えやすくなるのでしっかりと防除をおこなった茶園に被覆をしてください。</p> |
| いちご | <p>育苗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 灌水管理 天候や風の強さにより培土の乾き具合が変わりますのでよく観察して灌水量、回数を決めてください。基本的には朝に十分に行い、11時頃、14時頃の3回程度行ってください。 ・ 施肥 定期的に施肥を行ってください。 IB化成の場合は8粒/株程度を20日間隔で施肥を行ってください。また、定期的に硝酸イオン試験紙で測定してください。 ・ 葉枚数 親株の葉枚数は3枚程度で管理してください。 子株の葉枚数も現段階では必要ありませんので葉かきを行ってください。 | <p>本圃管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温度管理 日中は26℃程度、夜間は8℃程度で管理してください。 着色を遅らせたい場合や灰色かび病が心配されるようでしたら夜間も風下側のサイド換気を開放してください。 ・ 病虫害防除 アザミウマ、アブラムシ、ハダニ、コナジラミ、うどんこ病の発生が多くなりますので予防並びに初期防除を行ってください。 ・ ハチ 収穫を終了する20日前まではハチによる交配が必要です。 ・ 収穫が終了したハウスは 収穫が終了したハウス内には多くの病虫害が発生しています。そのまま放置してしまうと、その病虫害が育苗圃や近くで栽培している作物に移動してしまいますので40℃以上50℃未満で1週間程度蒸し込みによる殺虫・殺菌をおこなってください。 |

| | | |
|-------------|---|---|
| みかん | <p>作業 着花管理 花の少ない樹 生理落果を防ぐよう、新芽の芽かき、かぶさり枝を除去して果実が光が当たる様にします。</p> <p>花の多い樹 摘果剤の活用や、自然落果の具合を見定めながら、上部を中心に1樹で3割程度早期に摘果していきます。</p> | <p>温州ミカン間引き摘果 ターム水溶剤 1000~1500 倍 2次生理落果発生期（満開 20~40 日後） ※タームは2次生理落果期に1回のみ。 フィガロン乳剤 1000~2000 倍 満開 20~50 日後で生理落果のある時 ※フィガロンは生理落果期に1回のみ。</p> |
| 馬鈴薯 2~6月 | <p>各栽培時期によって生育状況が異なりますので、栽培状況を確認しながら防除等の管理に努めてください。</p> <p>露地栽培の収穫期を迎えています。</p> <p>品質保持の為、収穫日の天候を気にしながら収穫遅れにならないように気を付けてください。</p> <p>気温等の影響で葉や樹の生育不良が見られる場合は、葉面散布剤・液肥の散布をおすすめします。</p> | <p>○疫病 ＜予防＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダコニール 1000 500~1,000 倍-7 日-5 回 ・ドイツボルドーA 400~800 倍-無制限 (ドイツボルドーA は野菜類で軟腐病の登録もあります。500~1,000 倍、無制限) <p>＜疫病治療＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホライズン DF 1,000~2,500 倍 14 日-4 回 ・フォリオゴールド 500~1,000 倍-7 日-3 回 (フォリオゴールドは、リドミルとダコニールの混合剤なので使用回数に注意) <p>＜軟腐病治療＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カセット水和剤 1,000 倍-7 日-3 回 ・スターナ水和剤 1,000 倍-7 日-5 回 <p>○アブラムシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランネット 45DF 1,000~2,000 倍 7 日-5 回 ・ダントツ水溶剤 2,000~4,000 倍 7 日-3 回 ・ベネビア OD 2,000 倍-7 日-3 回 |

| | | |
|---------------------|--|---|
| <p>メロン 4～8月</p> | <p>【交配前の防除注意】 農薬の影響により交配時にミツバチが活動しにくくなる場合がありますので、交配前の防除は使用する農薬の選択に注意してください。</p> <p>交配については概ね終えている圃場が多くなってきました。 交配後・ネット形成後それぞれのタイミングで、なるべく早めの防除を心掛けてください。</p> <p>5月中下旬の長雨による影響で、「つる枯れ病」や「うどんこ病」といった病気の発生が多く見受けられます。 雨による高温多湿条件下で病気の発生を助長させてしまう恐れがありますので、直近の天候を気にしながら早めの防除を行って下さい。 また、天候不良時にはなるべく葉かきや摘果といった樹を触る管理は避けていただくよう注意して下さい。</p> <p>害虫では、「アカダニ」の発生が多く見受けられます。時間が経つと繁殖し葉が褐変・枯死する場合がありますので、早めの防除に努めて下さい。 殺卵効果のある「コロマイト水和剤」をおすすめします。</p> | <p>○アブラムシ類、コナジラミ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダントツ水溶剤 2000～4000倍 前日-3回 ・ベストガード水溶剤 1000～2000倍 7日-3回 ・コルト顆粒水和剤 4000倍 前日-3回 ・バリアード顆粒水和剤 2000～4000倍 前日-3回 ・ウララDF 2000～4000倍 前日-2回 ・ムシラップ 500倍 前日-無制限 <p>○ハダニ類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロマイト水和剤 2000倍 前日-2回 ・ダニコングフロアブル 3000倍 前日-1回 ・バロックフロアブル 2000倍 前日-2回 ・ムシラップ 500倍 前日-無制限 <p>○ウリハムシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン乳剤 1000倍-前日-3回 ・ダントツ水溶剤 2000～4000倍 前日-3回 <p>○うどんこ病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオウフロアブル 500～1000倍 前日-無制限 ・ポリオキシシ AL 水和剤 1000～2000倍 前日-5回 <p>○うどんこ病、キャンカー（つる枯れ病）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフェットフロアブル 2000～4000倍 前日-3回 ・パレード 20 フロアブル 2000～4000倍 前日-3回 <p>○うどんこ病、キャンカー、べと病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダコニール 1000 700～1000倍-3日-5回 ・アミスター-20 フロアブル 2000倍-前日-4回 <p style="text-align: right;">※高温時薬害注意</p> <p>※農薬の対象病害虫について上記のように記載がありますが、薬剤によって他の病害虫の登録内容（または希釈倍率）もございますので、ご使用の際は必ず容器のラベル等をご確認していただきご使用していただくようお願い致します。</p> |
|---------------------|--|---|

| | | |
|---|---|---|
| <p>水稻 4～9月</p> | <p>早期栽培は中干し時期になります。 普通期栽培は田植え期になります。 田植え前の苗箱処理剤と田植え後の除草剤散布を行って下さい。</p> <p>○田植え後除草剤 [粒剤] ・パワーウルフ1キロ粒剤 51 1kg/10a (移植直後～ノビエ 2.5 葉期) ※移植後 30 日まで ・スパークスター粒剤 3kg/10a (移植後 5 日～ノビエ 2.5 葉期) ※移植後 30 日まで ・アクシズMX1 キロ粒剤 1kg/10a (移植後 7 日～ノビエ 4 葉期) ※収穫 45 日前まで [ジャンボ剤] ・カチボシLジャンボ 300g/10a (移植直後～ノビエ 2.5 葉期) ※移植後 30 日まで ・エリジャンジャンボ 300g/10a◆ (移植直後～ノビエ 1 葉期) ※移植後 30 日まで ・テッケンジャンボ 500g/10a◆ (移植後 15 日～ノビエ 4 葉期) ※収穫 60 日前まで ◆エリジャンジャンボは初期剤なので、中後期剤のテッケンジャンボとの体系処理をお願いします。</p> | <p>【早期栽培】 中干しは田植え後約50日で、莖数が20本前後の頃に開始して下さい。 梅雨時期に入り降雨が多くなるので、約30日と長めに干すようにして下さい。</p> <p>○中干し時の除草剤 ・クリンチャーバス ME 液剤 (移植後 15 日～ノビエ 5 葉期) ※収穫 50 日前まで 使用量：1000ml/10a 散布量：70～100l/10a 使用回数：2 回以内 使用方法：落水散布又はごく浅く湛水して散布</p> <p>・ワイドパワー粒剤 (移植後 20 日～ノビエ 5 葉期) ※収穫 60 日前まで 使用量：3kg/10a 使用回数：1 回 使用方法：落水散布又はごく浅く湛水して散布</p> <p>【普通期栽培】 ○苗箱処理剤 いもち病、イネミズゾウムシ、ニカメイチュウ ・ブイゲットプリンス粒剤 10 50g/箱 (緑化期～移植当日) ・ピカピカ粒剤 50g/箱 (移植前 3 日～移植当日)</p> <p>○ジャンボタニシ ・スクミノン 1～4kg/10a (2回 ※収穫 60 日前まで) 田植え直後～3 日以内の被害が出る前までに散布して下さい。</p> |
| <p>大根 9～2月</p> | <p>(9～2月に掲載予定です。)</p> | <p>(9～2月に掲載予定です。)</p> |
| <p>レタス 9～3月</p> | <p>(9～3月に掲載予定です。)</p> | <p>(9～3月に掲載予定です。)</p> |
| <p>サニーレタス 9～3月</p> | <p>(9～3月に掲載予定です。)</p> | <p>(9～3月に掲載予定です。)</p> |
| <p>★☆☆隣接する圃場に他の作物が栽培されている場合、風のない日に防除する「ドリフト軽減噴口」を使用するなど十分な注意をお願いします。☆☆★</p> | | |

次回発行 令和3年6月22日